



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
統合失調症、パーキンソン病、アルツハイマー病と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

ヒト血液及び脳脊髄液中の硫化水素とポリサルファイドの解析

【研究責任者】

木村英雄(山陽小野田市立山口東京理科大学工学部医薬工学科)

【本研究の目的及び意義】

統合失調症、アルツハイマー病、パーキンソン病のモデル動物や死後脳において、神経の働きを助ける硫化水素やその関連物質が顕著に変化していることが分かっています。そこで、血液や脳脊髄液中におけるこれら物質の変化が疾患と関わっているかどうかを調べます。これにより診断が簡便化され、新規治療法開発にも繋がる可能性があります。喫煙の影響についても明らかにします。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液
性別、年齢、診断名、服薬情報、喫煙の有無

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

承認後～2025年3月31日

【研究を開始する日】

2024年9月頃を予定しています。

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク
所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部
電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)